

慢性腎臓病における腎内小細動脈硬化及び臨床指標に関連する因子と腎予後に関する調査

1. 研究の対象

2003年から2010年に当科で腎生検が施行された患者さま

2. 研究目的・方法

目的： 血圧と尿蛋白との関係に及ぼす腎内小細動脈硬化や高尿酸血症の影響、腎機能の予後への影響などを検討することを目的としています。

方法： 2003年から2010年に第3内科で実施された腎生検の標本を使用します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

〈臨床背景〉身長、体重、BMI、血圧、脈拍など

〈臨床検査データ〉採血検査（血液一般検査、血液生化学的検査、免疫血清学的検査）、尿検査 腎生検標本等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

琉球大学医学部附属病院 血液浄化療法部

准教授 古波蔵 健太郎

電話：098-895-1341

研究責任者：

琉球大学医学部附属病院 血液浄化療法部

准教授 古波蔵 健太郎